



2020年12月9日

各 位

会社名 株式会社ビーアンドピー  
代表者名 代表取締役社長 和田山 朋弥  
(コード番号：7804、東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 清水 明  
(TEL. 06-6448-1801)

### 剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、2020年10月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件は2021年1月27日開催予定の第35期定時株主総会に付議する予定であります。

### 記

#### 1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年5月15日公表)	前期実績 (2019年10月期)
基準日	2020年10月31日	同左	2019年10月31日
1株当たり配当金	22円00銭	20円00銭	50円00銭
配当金総額	50,600千円	—	115,000千円
効力発生日	2021年1月28日	—	2020年1月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

#### 2. 理由

当社の配当政策は、株主の皆様に対する利益の還元を経営上の重要な施策の一つとして位置づけており、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

上記の方針のもと、2020年3月9日に、2020年10月31日を基準日とする剰余金の配当（期末配当）の予想を1株につき50円00銭と公表いたしました。

ところが、2020年4月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大により国内企業の販売促進活動の停滞、並びに、各種イベントの中止・延期等により、当社の主力事業である販売促進用広告制作の売上が大きく落ち込み、通期の業績の悪化が見込まれたため、2020年5月15日に通期の業績予想を当初の予想から下方修正いたしました。さらに、当該通期業績予想の修正に伴い、新型コロナウイルス感染症の収束時期に関する不確実性、当初予想の配当性向を考慮しました結果、誠に遺憾ながら期末配当の予想を1株につき20円00銭に見直

しさせていただきました。

当社は新型コロナウイルス感染防止のために、従業員の安全を確保し、柔軟な時差出勤の実施、在宅勤務の一部実施等の各種対策を実行した上で、お客様からの信頼にお応えするべく、営業体制・制作体制の両方の維持継続を図ってまいりました。また、残業の抑制等のコスト削減が進んだ結果、本日公表した「2020年10月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載のとおり、当期の売上については修正業績予想を下回ったものの、利益については修正業績予想を上回ることができました。

新型コロナウイルス感染症についてはいまだ収束の時期が見通せず、今後の動向については不確実性が伴いますが、当社といたしましては株主の皆様には誠意をもって利益を還元する観点から、期末配当を1株当たり22円00銭とさせていただきます。

以 上